# 福居

# vol.118

福井商工会議所青年部会報
発行日／平成 30 年 3 月 17 日
発行者／北出　慎吾　編集者／小前田　宙
発行所／福井商工会議所青年部　総務・渉外委員会
福井市西木田 2-8-1
TEL:0776-33-8253　FAX:0776-36-8588

平成29年度スローガン

剛毅果断

熱い想いと
覚悟を示した行動力が
未来をつくる

・会長あいさつ　・・・・・・・・・・・・・2
・平成 29 年度ＹＥＧ活動報告　・・・・・3
・日本ＹＥＧ特集　・・・・・・・・・・13
・卒業生の言葉　・・・・・・・・・・・14
・平成 29 年度委員長コメント・・・・・16
・平成 30 年度会長抱負／委員長抱負・・19
・組織図／会員企業一覧　・・・・・・・24
・新入会員紹介　・・・・・・・・・・・26
・あじさい会通信／結婚・おめでた
　西木田通信　・・・・・・・・・・・・30

# 剛毅果断
## ～熱い想いと覚悟を示した行動力が未来をつくる～

福井商工会議所青年部
平成 29 年度会長
北出慎吾

平成 29 年度もあとわずか。思い起こせば長いようであっという間に過ぎ去った 1 年でした。

今年度は、「剛毅果断～熱い想いと覚悟を示した行動力が未来をつくる～」をスローガンに火種人材の育成を中心にまた、「信頼づくり」「人づくり」「みらいづくり」「まちづくり」「仲間づくり」をテーマに未来をつくる団体としての活動を進めてきました。

福井フェニックスまつりにおける「水かけ障害物レース」フェニックス人選びや福井 YEG でのインターンシップ事業への参画、カニ出汁の商品化、まちキッズふくいでの宝人探し、提言活動、将来を見据えた福井 YEG 広報・拡大活動などの新しい事業・例会にも挑戦し、まさしく 1 年が「剛毅果断」に進みました。

くしくも今年は明治維新から 150 年。時代を駆け抜けた偉人たちが熱い志を持って日本を変えようとした時でもあります。福井 YEG として「剛毅果断」にコトを進めた結果が、自分の成長、自企業への発展、地域への活性と結びつくことで将来の福井をそして日本を大きく変える出来事になります。そう確信させる福井 YEG メンバーの活躍でした。

会長として色々と助けてもらったことも多く、支えてくれた副会長をはじめ、委員会を引っ張ってくれた委員長、副委員長、そしてメンバーの皆様に心から感謝申し上げます。この経験は今後の私の人生にとって大きな糧になることは間違いありません。

大好きな福井で大好きな福井 YEG メンバーと充実した 1 年を過ごすことができました。

本当にありがとうございました。

## 第32回ふくい春祭り参画事業

平成29年4月9日ふくい春まつりに参画しました。

山里口御門の復元工事が今年度で完了するということで、お堀の中で開催できるのも今回が最後となりました。

山里口御門復元工事現場見学会では、坂川建設㈱様のご協力のもと、ガイドの説明とともに工事現場を巡り、福井城址の歴史について学びました。完成前であることを最大限活用した見学会で工事終了後にはもう見ることができない箇所を見学することができました。また、現場担当者から直接話を聞くことができる貴重な体験となりました。併せて福井城址の遺構探検と称して福井城址周辺の歴史に関するクイズをスタンプラリー形式で楽しめる企画も実施しました。子ども達の参加が多く、大変盛り上がりました。

春の49王国では、上文殊・宝永・明新・円山の各地区からご参加をいただき、桜餅や団子、本格的な野点など春を彩る和やかな空間が演出されました。また、笏谷石の会様のご協力で、福井城址の石垣や山里口御門の屋根にも使われている福井固有の笏谷石を使ったワークショップとパネルの展示をしていただき、家族連れでにぎわいました。そして福井工業大学様からは「さくらＦＵＴおでん」を屋台形式で出店していただきました。学生の皆さまが接客してくれたこともあり大好評となりました。

お堀でライブの特設ステージでは、ベリーダンスやフラダンス、アコーステックギターやエレキギター、キーボードにスコップ三味線の演奏まで、幅広いジャンルの踊りと音楽が披露され、まだまだ寒さの感じられる会場が熱気に包まれました。

普段は立ち入ることができないお堀の内部ということ、そして地域の皆様のご協力のもとで、多くの来場者が訪れる事業となりました。

## 4月定期総会

平成29年4月17日、福井商工会議所ビル地下国際ホールにて日本ＹＥＧ出向者の中川知士君によるＹＥＧ宣言のもと4月定期総会を開催しました。4月定期総会は平成28年度の活動を総括すると共に、平成29年度福井ＹＥＧが新たな体制でスタートするための重要な総会です。

本総会には福井商工会議所より川田会頭、宮崎専務理事、地域振興部の寺川部長と地域事業課の岡田課長、そして福井県商工会議所青年部連合会より木村会長にご列席頂きました。

川田会頭からご挨拶頂いた後、新入会員11名の紹介が行われました。

本総会では第1号議案から第4号議案が上程され、慎重審議により、原案どおり可決承認されました。

議案審議後、平成28年度山岸会長より退任の挨拶が行われ、1年間の活動を振り返りながら、会員全員に感謝の言葉を述べられました。山岸会長、1年間本当にお疲れ様でした。

その後、会員一同を代表して北出会長から平成28年度山岸会長に記念品が贈呈されました。

## 4月度例会

平成29年4月17日、福井商工会議所ビル地下国際ホールにて、4月総会開催の後、総務・渉外委員会（小前田委員長）担当の4月度例会を開催しました。

4月度例会は、平成29年度スローガンの「剛毅果断～熱い想いと覚悟を示した行動力が未来をつくる～」の下、各委員長が1年間どのように活動していくのかを全会員に理解していただくために、各委員長にプレゼンテーションしていただき

ました。
　各委員会ともしっかりと熱い想いを発表していただき、全会員が一致団結して覚悟を示した行動に移れることでしょう。
　執行部表彰では昨年度、ＹＥＧラジオ「あくなき挑戦」において、収録、編集作業等で縁の下の力持ちであった澤田君が表彰されました。
　委員会報告では、ＹＥＧポスター作成にあたり、藤田君、下野君2名のデザインが採用されたことで北出会長よりお礼を授与されました。

## 5月度例会

　平成29年5月24日に5月度例会「ＹＯＵも、アントレやっちゃいなＹＯ！」を開催しました。
　アントレ・キッズなどの職業教育のメリットには「自己研鑽」や「仕事に対する意識の向上」というものがあります。ＹＥＧ会員ではないＹＥＧ企業の社員さんがアントレ・キッズの講師をすれば、その人の仕事に対する意識が変わり、それが周りの人たちに伝わり、周りの人たちの意識も変わっていくという好循環を生み出せるということを今例会で提唱しました。
　授業の内容を映像で見て頂き、一般の社員さんで講師を務めたことのある方をゲストに招き、パネルディスカッションをしました。
　例会にご参加頂いた会員さんや、オブザーバーで参加して頂いたＹＥＧ会員企業の一般の社員さんから、アントレ・キッズの講師をやってみたというお声を頂き、成果のある例会になったのではないでしょうか。

## 3地区ＹＥＧ交流会事業

　平成29年6月17日に、平成29年度三地区ＹＥＧ交流会事業に参加しました。本年度の、三地区交流会事業は、福井・敦賀・小浜の3単会で行われ、小浜の地で開催され、福井ＹＥＧメンバーは34名が参加しました。
　福井から小浜へバスで向かい、バスの中でも積極的な会員交流を行うことができました。
　第1部は研修会で、『北陸新幹線と地域創生』をテーマに、講師江川誠一先生の講演をお聞きしました。
　将来に予定されている福井県内での北陸新幹線の段階的開業で福井はどうなるか?どのようにまちづくりを進めていくべきか?ということを考えさせてもらえる非常に濃い内容の講演でした。
　第2部は交流会でした。会場をフィッシャーマンズワーフに移して、小浜の食材を使用した海鮮バーベキューを行いました。地元の新鮮な食材を使ったバーベキューはとても美味しく、3地区メンバーの交流を存分に図ることができました。
　今回の事業で、福井・敦賀・小浜の会員の絆がより深めることが出来たのではないでしょうか。

## 6月度例会

　6月18日に福井商工会議所地下国際ホールにて、今年度1回目のビジネス例会「Catch the fire ～わかりはじめたマイモチベーション～」を開催しました。本例会はモチベーションをテーマとし、自分のこれまでを振り返り、どんなときにモチベーションが上がったか、下がったか。その時にあった出来事などを振り返り、他のメンバーと話し合うことで、自分自身のモチベーションの源泉を見つけ出します。
　本例会では自身の振り返りを行うための「モチベーションチェックシート」と「モチベーショングラフ」を作成しました。これらのツールは例会当日に使うだけではなく参加した会員が自社に持ち帰って使うことも想定して Go-getters 委員会にて開発しました。例会の前には委員会メンバーの会社にて入社3年目の若手社員を対象にした研

修で使用してもらい、内容を検証しました。例会ではこのツールを使うことで、会員歴の長い方も新人の方も同じように話し合い議論を深めることができたようです。

自身の振り返りはもちろん、同じグループとなった他メンバーの今まで知らなかった一面も知ることができたという意見が聞かれました。リーダーとして、自分自身はもちろん、組織やチームをマネジメントする上で重要な「モチベーション」について深く考えることができた例会になりました。

## 7月度例会

平成29年7月26日に福井商工会議所地下国際ホールにて7月度例会「2つの発見『ロジカルシンキング』と『頼れる仲間』」を開催しました。7月のテーマはロジカルシンキング。経営者は多くの場面で決断を求められます。その決断について仲間や組織と合意を形成するには、相手の腹に落ちるよう論理立てて説明する力が求められます。この例会ではそんな論理的な物事の考え方、ロジカルシンキングと自分の考えをグループで合意形成する方法について、ワーク研修を通じて実践的に学びました。

研修は理論を学ぶ第1部とそれを実践する第2部で構成され、特に第2部ではゲーミフィケーションの手法を採用し「NASAゲーム」という合意形成を目的としたゲームを使用しました。NASAゲームは月面で遭難したという設定で、手持ちの道具の何を優先すべきかをグループで話し合い合意を図ります。その合意を形成する過程において第1部で学んだ理論を活かし、メンバーが納得して合意できる論理をいかに構築できるかがポイントでした。

ゲーミフィケーションの手法は参加者にとって取り組みやすく、特定のメンバーが独断で結論を決めるのではなくしっかりとした話し合いの中で、論理的に皆が納得できる結論に至ろうと各所で活発なディスカッションが行われていました。ロジカルシンキングと合意形成というビジネス上必須のスキルについて、楽しみながらもしっかりと学ぶ時間が作れました。

## 第64回フェニックスまつり事業

第64回福井フェニックスまつり参画事業として平成29年8月5日に、江戸時代に福井城下で盛大に催されていたとされる正月行事「馬脅し」にかけて、「第一回フェニックス人選び2017」～水かけ障害物レース～を開催しました。

気温35度と暑い日にもかかわらず、事前募集や当日受付で集まった参加者は小学生から外国人まで約100名。参加者は、健康・学業成就部門、家内安全・縁結び部門、エキシビジョン部門、商売繁盛部門、地域発展部門の5部門に分かれ、各部門の「フェニックス人」の称号を得るため、福井中央公園をスタートし、佐佳枝廼社境内をゴールとした全長約200メートルのコースを駆け抜けました。コース内に5か所の障害物を設置し、参加者の激走を妨害する。第1の障害物の網くぐりでは、コース上部に架かる人道橋からの大量の放水でずぶ濡れです。そのあと、平均台、ジュース一気飲み、大縄跳び、そして佐佳枝廼社の長い階段を駆け上がり、ゴール目の前で再度水かけ。参加者は全員がずぶ濡れになりながらも笑顔のゴールとなりました。

また、「レースには参加できないけれど妨害を！」と走者にバケツや水鉄砲で、笑顔で水をかける沿道からの参加者の姿も。レース参加者は水をかけられて笑顔、沿道からも走者に水をかけて笑顔という、誰でも参加できた楽しい祭りとなりました。

コース周辺の商業施設、駐車場等にはご心配・

ご迷惑をお掛けしましたが、多大なるご協力いただき、ありがとうございました。企業局・警察署・市役所には事前の打ち合わせを含め貴重な時間を割いていただきありがとうございました。そして当日の準備や交通整理など福井ＹＥＧ会員の協力により無事に開催することができました。本当にありがとうございました。

## 8月度例会

平成29年8月19日にまちづくり福井㈱との共催で、福井駅前商店街にて「えきまえアントレ・キッズ２０１７」を開催しました。

今年は駅前にある33店舗で子ども達が体験を通して仕事の意義ややりがいを学びました。

福井ＹＥＧからは新入会員の金曽充孝君（ジブラルタ生命保険株式会社）、見谷純次君（株式会社見谷組）、金本いずみ君（株式会社 MAKT crowning）、榊原右章君（Ai support）、神田拓磨君（500BAR taku）や、福井駅前で店舗を構える前田和也君の（株）E-GANG）などが受入れをしてくれました。

10回目を迎える今年は、これまでのえきまえアントレ・キッズの変遷を確認できるパネル展示や「5年後の自分への／子どもへの手紙」など新たな試みを実施しました。

「5年後の手紙」は、参加した子供たちが就職や進学を考えるタイミングに、当時のえきまえアントレ・キッズで福井の駅前の実店舗で自分がどう感じたのか、お父さん・お母さんはどのようなことを思っていたのかを伝えたいという思いで企画をしました。

## 夏期キャリア教育事業

福井県経営者協会が毎年開催している「ふくいインターンシップ」にＹＥＧとして参画致しました。通常のインターンシップでは1社で学生数人を1～2週間受け入れますが、ＹＥＧ会員の中でその様な受入れができる企業はごくわずかです。そこで業種・職種コースを作り、1コース2～3社持ち回りで学生を受入れるようにしました。結果、受け入れのハードルが下がり、我々としてもインターンシップのイメージを掴むことができます。学生にとっても1週間で複数社知ることができ、同じ業種・職種でも企業によって全く違うことを知ることができます。これからの就職活動で企業分析の力を養って頂けたのではないでしょうか。

受入後の懇談会では、受け入れて頂いた会員企業さんから「インターンシップのイメージが変わった」「社員教育になった」などの意見を頂き、学生さんからも「業種や職種などを深掘りすることができた」という意見などがあり、双方にメリットのある事業だったかと思います。

中小企業の抱える人材不足を打開するヒントになりうる取り組みではないかと思い、今後もこういった形で広がっていけばいいなと思います。

## 9月度例会

例年は新入会員オリエンテーションと会員交流例会を別々に行っていましたが、今年度は一緒に行うということで、楽しみながら交流し、ＹＥＧ活動の主な活動である各委員会について知ってもらおうと、ゲーム形式で楽しめる例会を開催しました。まず、北出会長には「賢者」に、事務局の新河戸さんにはドラゴンにさらわれる「しんこど姫」に扮していただき、ドラゴンにさらわれた「しんこど姫」を助ける為には「賢者」の一人では倒せず、みんなの力が必要だという物語設定で、参加者は「勇者」として、チームの仲間と一緒に冒険しながらＹＥＧの魅力「宝」を発見し、見つけた宝とみんなで唱えると発動できる魔法「剛毅果断」で、賢者と共に「ドラゴン」を撃破するという物語でした。

まず、新オリの部分では、洞窟に見立てたブースで各委員会や出向先での魅力を3分間で伝えていただきます。クエスト終了後、元のチームのテーブルに戻ると、鍵のかかった宝箱が置いてあり、9つの洞窟を回って集めた9枚のカードの裏に書いてあるキーワードを読み解いて鍵のありかを探し、鍵が開くと、宝箱の中にはチーム全員で行うことで「賢者」にパワーが届くミッションが入っていました。全チームがミッションを行った後は、いよいよ「賢者」が全勇者とともに唱えることで発動できる魔法「剛毅果断」を実行し、無事にドラゴンを倒し、YEG全体としての一体感も生まれるフィナーレとなりました。

ゲーム形式にしたことで、時間がタイトでしたが、有意義にYEGの魅力を知れ、会員同士が笑顔で交流できた例会になったのではないかと思います。

仲間ができるとYEG活動は参加しやすく、参加すればするほど自己成長もできると考えます。今例会参加後、一人でも多くの仲間ができ、今後のYEGの例会、事業、各大会への参加者が増えることが今例会の成功といえるのではないかと思います。

## まちキッズふくい2017

平成29年10月9日第1回ワークショップ・10月10日～11月4日第2回フィールドワーク・11月5日第3回ワークショップ　計3回の日程でまちキッズふくい2017を開催しました。

昨年度から始まった「まちキッズふくい」は、小学生の子ども達が、福井市内49地区を探検して、郷土愛を育むことを目的として始まりました。

本年度は「まちづくりはひとづくり」の観点のもと、まちの宝ともいえるそれぞれの地域の「人」にフォーカスをあて、各地区で活躍されている人を「宝人」と名付けました。子ども達が特派員となって宝人に会いに各地区へ出向き、取材して記事を書いて、一冊の本にまとめました。私たちは子ども達に対して、さまざまな活動や取り組みについて宝人を通じて知ることで、「まちづくりはひとづくり」を実感してほしいと願いを込めていました。

第1回のワークショップでは講師の佐藤ライターから取材のレクチャーを受け、子ども達は特派員になるため真剣に取材の練習を行いました。第2回のワークショップでは実際に宝人に会って取材を行いました。子ども達は、宝人と会うまでに下調べをして自分なりに質問を考えて、取材することができました。

また、第3回ワークショップでは佐藤ライターから記事のまとめ方のレクチャーを受け、取材してきた事を1つの文章にまとめ、撮ってきた写真の選定を行いました。決められた時間内に仕上げる必要がありましたが、最初は緊張していた子ども達でしたが、徐々に緊張もほぐれ真剣な表情になっていく子ども達の可能性のすごさには本当に感動しました。

1月下旬に発刊された「ふくい宝人」各方面から1冊ほしいとのお声を福井市内外から頂きまして、増刷が決定いたしました。

福井市内の小学校や公民館、図書館などに配布されましたので、是非手に取ってご覧になられてください。

## 第35回近畿ブロック大会 近江守山大会

平成29年10月14日に、滋賀県守山市で開催された日本商工会議所青年部 第35回近畿ブロック大会近江守山大会に参加しました。

記念式典、記念講演、分科会、大懇親会と主管された守山YEGの皆さんの企画運営を愉しませていただき多くの学びをいただきました。また全国より集まったメンバーと交流することができました。

福井YEGの登録人数は37名でした。親会である福井商工会議所の会員大会と同日開催ということもありましたが、多くの人数の方にご登録いただけました。ありがとうございました。

今年は、日帰りでの参加になり、式典、大物産展、講演会、分科会、大懇親会等を一日で味わうというハードなスケジュールになりました。そのぶん近ブロ大会を濃密に体験し、メンバー同士の交流も図れたのではないでしょうか。

平成31年度には大野で近畿ブロック大会が開催

されることもありますので、今回参加出来なかったメンバーの方も今後の積極的なご参加をお待ちしております。

## 10月福井商工会議所会員大会出店

平成29年10月14日～15日にかけて福井産業会館にて開催された福井商工会議所会員大会に、福井商工会議所青年部として出店しました。出店内容は「越前濃厚かに出汁おでん」。「福井名物開発プロジェクト」の中で開発した、かにの甲羅を加工して作った出汁を使用しています。

福井名物開発プロジェクトは、福井市を代表する名物の開発による地元ブランド力の向上を目的に、青年部の有志により立ち上がりました。昨年度はかに出汁をつかったラーメンを作り富山県高岡市で開催された「だいぶっさんてん」に出店しています。その活動を今年度は Go-getters 委員会が引き継ぎ、会員大会での出店に向けて検討を進めてきました。今年度はその経験を活かし、出汁の新たな活用法としておでんに挑戦しました。

かにの風味豊かなおでんは大変好評で、両日とも予定していた数を売り切ることができました。特に2日目は売り切れる時間が早すぎたため急遽材料を追加しましたが、それでもお昼の時点でスープ含め完全に売り切れとなりました。当日は天候が優れず足下も悪い中、たくさんの方にお越しいただき本当にありがとうございました。

名物開発プロジェクトのゴールはこのおでんに使った出汁を市販し、広く使ってもらうことです。商品としての骨格は固まってきました。次年度以降は市販に向けたパッケージング、マーケティングおよび製造といった部分を検討していきたいと考えています。

## 10月度例会

平成29年10月25日に、福井商工会議所国際ホールにて、10月度自己研鑽例会として、「目指せ！それぞれの King of YEG ～YEG人間力を高めよう～」を開催しました。

新入会員が考える自己研鑽例会という難しい題材という事で、委員会でもしっかり話し合い、どうする事が多くのメンバーにわかりやすく、楽しく自己研鑽についての例会を構築できるかを考え、今年度の各委員会の委員長のお名前を拝借して「〇〇力」として（総務渉外委員会は総合力という形になるので今回は入っておりませんが）皆さんのYEG人間力を検定して得意・不得意分野を見極めて、今後の目標をたて、これからもその目標に向かって、自己研鑽していただこうという例会でした。

5つの観点からみるYEG人間力、自己評価と実際に検定を受けてみての評価、この差が大きい人も小さい人も、検定という形で測ってみることで自分の得意分野や、苦手だったり、あまり力を入れてこなかった部分も見えたと思いますので、設定した目標を改めて見ていただいて、今後の気づきにしていただければと思います。

YEGに入って間もない新入会員だからこそ考えられる検定問題がたくさんあり、飛躍成長委員会のメンバーも、例会を構築していく中でしっかりと自己研鑽できていたと思います。

参加された多くの方に、いい例会だった、今年の新入会員はすごいというお褒めの言葉を多くいただいて、委員長として本当にうれしく思います。

懇親会にも多くの方に来

ていただき、飛躍成長委員会のメンバーもたくさんの会員の皆さんと交流でき、いい懇親会になった思います。

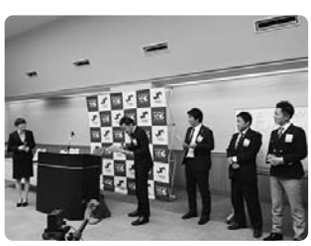
今例会を通じて、皆様にとってＹＥＧが更なる自己研鑽の場になり、今回書いていただいた目標を見返していただいて、それぞれが目指す「King of YEG」に少しでも近づくことが出来れば幸いと思っております。

## 11月度例会

平成29年11月22日に福井商工会議所地下国際ホールにて11月例会「福井の魅力を英語でしゃべらナイト ～Let's PR Fukui！～」を開催しました。11月のテーマは「福井を英語でＰＲ」。外国の方と接する機会が増えていく中で、海外の方へ福井のことを紹介する際に役立つ英語、及び効果的に伝えるＰＲ手法を学びました。

２０１６年の訪日外国人観光客は２４００万人を超えました。２０１７年は12月時点で２８７０万人を超え、今後ますます外国の方と接する機会が増えてきます。そんな中、我々は青年経済人として国際人としての教養を高める必要性が高まっています。そのため今回の例会では、海外の方に福井の魅力をＰＲすることをテーマに、英語とＰＲ手法を学びました。

講師にオービット外語学院　代表マーク・ネセラ氏を迎え、そのわかりやすく親しみやすいレッスンと役立つツール類は英語が苦手なメンバーにも大変好評でした。当日の例会にはマーク先生以外にも福井で生活されている外国の方にもご協力いただき、グループごとに作成した福井のＰＲ発表を行いました。ＰＲタイムでの発表はどのチームも大変熱のこもったものになり、講師の方々から高く評価されました。英語を使った例会は初めての挑戦でしたが、メンバーにとって大変実りあるものになりました。



## 第35回全国会長研修会 神話の郷 出雲の國ご縁会議

平成29年12月1日～2日の2日間、島根県出雲市において「第35回全国会長研修会 神話の郷出雲の國ご縁会議」が開催されました。

全国から平成30年度会長予定者を始め、平成29年度会長、事務局員並びに熱意を持った会員が集結しました。福井ＹＥＧからも7名のメンバーが参加しました。

1日目は会員総会の後、開会式が行われ平成29年度日本ＹＥＧ吉田会長や来賓の挨拶の後、平成30年度日本ＹＥＧ会長予定者から全国から集まった会員に向け、次年度に向けての所信を表明されました。開会式終了後は、それぞれ参加者別に分科会に別れ、研修を受けました。その夜の懇親会では地元の美味しい料理とお酒を堪能し、全国から集まった青年部リーダーや熱意を持った会員と親睦を深めることができました。２日目の全体事業では、出雲大社での観光と神事見学をさせていただきました。帰り道には、せっかく島根県まで来たのだからということで、日本一の庭園があると有名な足立美術館にちょっと寄り道して帰りました。庭園をここまで芸術的に出来るものかと感心しました。

会長研修会は普段お会いすることのない全国の青年部リーダーや熱意を持った会員と一緒に研修を行い、懇親を深めることができた実りのある２日間でした。

## 12月度家族例会

平成29年12月10日11時より、大和田のイルスイート大和田にて12月度家族例会「福井ＹＥＧ流クリスマスパーティー～ありがとうの言葉にかえて～」を開催しました。

今年度福井ＹＥＧには、30名近くの新しいメンバーが入会しました。

まだ会ったことがない会員メンバーの方も、今までお会いしたことのない会員のご家族にも会う事の出来るこの家族例会という場を、12月といえばだれもが親しみある「クリスマス」をテーマにした例会にすることで、お子様から奥様、旦那様まで楽しむことが出来るのではないかと様々な趣向を凝らしたおもてなしでお迎えさせていただきました。

福井の食材をふんだんに使ったクリスマス料理や、クイズ大会、これからもお子様のお弁当やお祝い事にも使っていただける飾り寿し教室や、大きなクリスマスケーキなど、盛りだくさんの企画でおもてなしさせていただきました。

家族例会という事で、多くのご家族にご参加していただき、交流を深めてもらい、少し早い福井ＹＥＧ流のクリスマスを堪能してもらいたいという委員会メンバーの想いが詰まった例会でした。

帰り際に「楽しかった」や「子供が喜んでいた」などのお言葉もいただき、ＳＮＳなどで飾り寿しが面白かったや、うちのはこんな感じになったなどの記事も上がっていて、この家族例会を開催することが出来てほっとしております。

ご家族ともこの家族例会の話題で盛り上がっていただければ幸いです。

## 12月定期総会

平成29年12月20日に福井商工会議所ビル地下国際ホールにて、平成29年度12月定期総会を開催しました。

議案は、次年度の役員選出（案）と次年度の基本方針（案）についてでした。いずれの議案も慎重な審議のもと無事に可決されました。

五十嵐次年度会長予定者からは，次年度基本方針の説明がされ，スローガン「Evolution（進化）」～YEGism の実践～が発表されました。

次年度福井ＹＥＧの方向性が明らかとなり，また，次年度会長の決意が示され，次年度福井ＹＥＧの活動に大きな期待を持てる時間となりました。

最後は毎年恒例の集合写真です。並んでみると、今年はかなりメンバー増強が出来たことを実感しました。

## 1月度例会

平成30年1月27日、1月例会を福井商工会議所コンベンションホールにて開催しました。

今回は、10月から取り組んできた「まちキッズふくい２０１７」で制作した「ふくい宝人」A版34ページの冊子の出版披露会と、その「まちキッズふくい２０１７」に参加いただいた子ども達、宝人を交えて「まちづくりはひとづくり」座談会をしました。

前半は出版披露会を開催しました。まちキッズふくい２０１７を当初より取材していただいていた福井市広報課による番組「やろっさ福井」を上映し、この事業を振り返りました。そして、子ども達へは記念品、宝人の皆さまには感謝状を贈りました。前に出てきていただき、北出会長から直接お渡ししました。ちょっと照れたような嬉しそうな子ども達の表情が印象的でした。

後半は、子ども達、保護者、宝人と一緒に福井ＹＥＧメンバーも座談会です。

まちキッズふくい２０１７では、各地域で活躍する宝人を取材できたのが24名でした。そこで、周りにいる25人目の宝人を探そうということをテーマにしました。宝人はどのような人なのかをグループで話をすることで、まだまだ各地区にいること、自分たちが宝人になることができるということを認識していただきたいと考えていました。そして宝人は同じテーブルでの座談会でお互いの活動を知る良い機会となりました。

この例会にはマスコミの取材が4社も入り、「まちキッズふくい２０１７」は完結しました。完成した「ふくい宝人」は、2月中に福井市内の小学校、公民館、図書館に寄贈しました。

福井ＹＥＧメンバーは青年経済人です。そして自宅に帰れば地域住民です。これからは各地区で活動していくことも念頭においてほしいと思い、委員会としてはそのことを伝えたい例会でした。

## キャリア教育に対する提言活動 ～未来をつくる団体たれ!!～

平成30年2月23日日本ＹＥＧ吉田会長、日本ＹＥＧ政策委員会の中村副委員長を講師にお招きし、政策提言の意義や目的、手法を学ぶ勉強会を開催しました。

福井ＹＥＧのみならず、県内他単会のＹＥＧメンバーにも多数ご参加頂きました。

吉田会長からは、ＹＥＧがなぜ政策提言に取り組んでいるのか、取り組んでいかなければならないのかなど会長の想いを熱くお話し頂きました。中村副委員長には、政策提言に関する歴史や全国各地のＹＥＧの取り組み状況、どのように政策提言に取り組めばいいのかというノウハウをご説明頂きました。

お二人の想いが伝わり、会場は「政策提言をやってみよう!」という意識が芽生えたように思います。

昨年度、日本ＹＥＧの岡村直前会長が来福され、我々に対し政策提言の必要性を説いて頂き、今年度、政策提言に対する落とし込みができ、次年度以降の提言活動に関する試金石となりました。

当日は日本ＹＥＧ政策提言委員会のメンバーの古川さんと本庄さんにもお越しいただき大変盛り上がりました。

## 2月度例会

平成30年2月28日に福井商工会議所地下国際ホールにて、今年度最後のビジネス例会「時代は大から小へ!これからの時代のマーケティング～マーケティング戦略と商品開発～」を開催しました。「福井デザインアカデミー２０１７ブランディング&商品開発講座」で長年講師を務める鷹屋信隆氏をお招きし、中小企業にとってこれからの時代に必要なマーケティング戦略、商品開発戦略についてのポイントを学びました。鷹屋先生の講義では①「商品・サービス企画のフレームワーク」、②「マーケティング発想」と「販売発想」、③時代は大から小へ～小さい企業の強み～、④「コモディティ化（同質化）」と「仕組みデザイン発想」といった内容を学び、講義の後は、福井ＹＥＧが昨年度から取り組んでいる「福井名物開発プロジェクト」において開発された「かに出汁（だし）」の今後の展開をテーマにグループワークを行いました。商品を作る側ではなく使う側の立場からそのコンセプトを考える。

鷹屋先生の講義内容をグループワークで実践していく中で、各グループでは非常に熱を持った議論が交わされ、時に鷹屋先生のアドバイスをいただきながら、様々なアイディアが生まれてきました。我々中小企業経営者にとってマーケティング戦略と商品開発は自社の発展、経営能力向上における重要なテーマ。理論と実践を組み合わせた今回の例会は参加者に大変好評でした。

## ＹＥＧポスター作成

魅力発信委員会にて、会員全員よりデザインのイメージとＹＥＧに対しての想いを寄せて頂き、想いの結集として「ＹＥＧポスター」を作成いたしました。

福井ＹＥＧのおこなっている良い活動（魅力）があまり外部の方達に知られていないという現状を踏まえ、会員一人一人からその周りの方に伝えてもらえないか、ということで事業の構築が始まりました。

福井ＹＥＧメンバー企業の社屋、店舗にかっこいいＹＥＧポスターをはることで従業員の方たちや取引先の方達の目を引き「ＹＥＧってなに?」という質問のきっかけになったならば、その方から「ＹＥＧとはこういうことをしています。」といった話ができると考えます。

さらに言うと、その会員が感じているＹＥＧの良さ（過去の実体験）を周りの方に話すことで、本当の意味での良さの発信ができるのではないかと考えております。

ポスターには、今年度作成するＹＥＧ会員が語

るＹＥＧの良さを伝える動画につながるＱＲコードを付けることでメディアミックスによるより深いブランドの浸透ができることも期待しております。

このポスターがＹＥＧメンバーの事業所、店舗において、ご来店されたお取引先様、お客様、またメンバー企業の従業員の皆様から「このポスターのＹＥＧって何？」という話のきっかけになればと願っております。

## インターネット広告を活用した福井ＹＥＧの認知度ＵＰ施策

福井ＹＥＧは自身の成長を通して、地域の発展に寄与すべく日々邁進をする素晴らしい団体であります。しかし、地域住民、地域企業に大いに認知がされているかとなると、まだまだ告知の余地があるものと考えます。

福井ＹＥＧブランド向上のためにはまず、福井ＹＥＧという団体を地域住民、地域企業に認知してもらうことが必要であります。認知された上で我々の事業を知ってもらい、福井ＹＥＧの取り組みをご理解いただくこと、その良さを感じていただけることが、さらなるブランド力向上につながるものと考えました。

そこで、インターネット上でのFacebook広告を通じた「福井ＹＥＧ」の活動の内外への告知、福井ＹＥＧウェブサイトへの誘導を行いました。現在、企業経営者の大多数が、情報取得手段として「インターネットの活用」をあげており、同様にFacebook等のＳＮＳは重要な情報発信・取得手段となっております。

当委員会にて担当するYoutube動画や会員インタビュー記事等を福井ＹＥＧのFacebookページにて投稿・告知する際、Facebookの広告機能を活用することで広く発信し、ブランドイメージの構築と浸透を目指します。合わせて、福井ＹＥＧのページへのフォロワー数増加につなげることで、継続的な情報発信基盤の構築を実現いたしました。

## 福井ＹＥＧブランド告知動画作成

我々の良き活動の魅力を、既存会員を通してその知人、友人に伝え「福井ＹＥＧは凄い」と思われるブランドイメージを築くことが今後の福井ＹＥＧの発展に必要であると考えました。

そこで、既存会員が感じている「ＹＥＧの魅力、入会してよかったと思うこと」などを題材に60秒程の動画を作成し、月替り（年間12個）で配信しました。

作成した動画は福井ＹＥＧの専用アカウントでYoutubeにアップし、そのリンクを福井ＹＥＧウェブサイト上に集め、合わせて公開もしております。

さらに、福井ＹＥＧのウェブサイトに加え、Facebookページや既存会員のＳＮＳ、ブログなどで情報のシェアを行うことで年間約10万人への魅力の発信を実現いたしました。

## 会社ヂカラ取材班

昨年度に引き続き、今年度も2月22日と3月2日に「ふくい会社ヂカラ取材班」を開催しました。本事業の目的は「取材」という形式により福井市内の先進的取組を行っている企業から自社の成長に向けた気づきを得、自社での実践につなげていくこと。今年度は「OOKABE GALASS HD 株式会社」様（2月22日　以下オーカベガラス様）と「株式会社廣部硬器」様（3月2日　以下廣部硬器様）に訪問させていただきました。どちらの回も早くに参加定員に達し、福井ＹＥＧ会員の興味関心の高さを感じました。

オーカベガラス様では大壁社長自ら「知識、信頼などの資産を社員にどれだけ残せるか。そのことを常に考えて行動している」という組織開発にかける想いを、時に社員の方のプレゼンも交えながら、社内での様々な取組を通じてご説明いただきました。参加者も自社に学びを持ち帰ろうと、社員の方や大壁社長に積極的な「取材」を行っているのが印象的でした。廣部硬器様では、国内シェアNo1を誇る警察署の紋章などの製造工程を見せていただきながら、新商品開発やXSCHOOLへの参加などの新しい取組の背景について伺いました。経営環境の変化にどう対応していくか、社員がそれぞれに知恵を出し合い協力し合う姿に、参加者は多くの気づきを得たようです。会社ヂカラ取材班は、学ばせていただくと同時に、学んだ事を実践することが重要です。取材班を通じた学び、気づきは参加者含め福井ＹＥＧに大きな財産となると考えています。

# 日本ＹＥＧ特集

日本ＹＥＧ　28 年度　本気でビジネス革命委員会
29 年度　ビジネス交流委員会　山田　祐司 会員

平成 28、29 年度２年にわたって日本商工会議所青年部に出向させていただきました。２年ともビジネス系の委員会に所属させていただき様々な日本事業を勉強させていただきました。１年目の大きな事業では BPC（ビジネスプランコンテスト）全国大会の半年前から活動を行い、色々なビジネス企画を拝見させて頂きました。事業内容は３次選考（１次選考時約 100 社からの登録、２次選考時約 10 社、最終選考）を経てグランプリを決定します。印象深い記憶では１次選考後のブラッシュアップ研修 IN 茨城県土浦市で２泊３日コンサルタントとの寝ずのプレゼン企画書作成でした。

我々サポート側もほとんど寝ずに真剣に参加者全員に向き合い、各企画書が最初のころとは段違いにクリアーに解り易くなっていくことに感動を感じました。グランプリを目的とは関係なしに自分の為、会社の為への個のブラッシュアップにつながっていたと本当にいい事業だと感じました。やっと終わりを迎えたところで次の日は秋田県に移動して事業の打ち合わせ、どれだけ仕事させてくれないんだと。

２年目については海外交流、業種別部会の復活と大きな事業が２つ担当受け持つことに。海外交流では現調として４度台湾に赴き、台湾の若手経営者団体と根深い交流が生まれました。（当日、後日の打上げを入れると６度台湾地獄のようでした）業種別部会では全９道府県で様々な YEG 企業者を業種を分けて色々な問題についてグループディスカッションを行いました。四国ブロック愛媛県松山市では市長も参加して頂き、離れた場所での新規企画と閑散とした駅前の再活用について話し合い、各業種独特のアイデアが生まれてきていました。マンパワーの素晴らしさに感激しました。

２年間仕事もろくにやらずに本当に YEG 尽くめでしたが、全国の色々な場所で色々な方々とのビジネスの情報交換や夜の交流、様々な全国に向けた企画の構築、全国大会、全国会長研修会、各ブロック大会運営側とのかかわりなど多くの勉強をさせて頂き、すこしは成長できたのではないかと思っています。次年度からは日本で学んできたものを福井 YEG メンバーに落とす為精進していきます。

日本ＹＥＧ 広報委員会　中川　知士 会員

今年度日本ＹＥＧの広報委員会に専門委員として出向させていただいております、Ｌ＆Ｐ中川です。
まずは簡単に日本ＹＥＧについて説明していきます。日本ＹＥＧは、全国３地区９ブロック 45 道府県連 413 単会、33,000 名を超えるメンバーを有する連合会組織として活動しています。地域を支える青年経済団体として、各会員の個性、地元の地域性、会員および地域が育んできた単会の特長を活かした活動への支援とともに、多種多様な価値観を持ち寄り、個人の成長や自企業の発展を促し、地域の振興に向けた活動の実施など、大きな期待が寄せられています。全国 33,000 名を超える青年経済人の力を集結し、より大きな力に変えることで、日本ＹＥＧでしか出来ない活動・事業を１年間運営してきました（①組織力強化活動②ビジネス活動③研修活動④提言活動⑤広報活動⑥交流活動）。

今年度の吉田大助会長は常日頃おっしゃっていることがあります。日本ＹＥＧは単会の為にあると。単会なくして日本ＹＥＧは存在しません。全国各地より日本ＹＥＧに出向している 200 名を超える熱意あるメンバーは本当に凄い人達ばかりです。僕でも圧倒されるぐらいヤバいメンバーが沢山おります（笑）。

ブロック大会や全国大会で福井ＹＥＧのメンバーの顔を見ると、物凄くホッとします。安心します。嬉しくなります。やっぱり福井ＹＥＧが居心地いいんだなぁ、福井のメンバーが好きなんだなぁって、出向して改めて思いました。

全国各地から集まる日本ＹＥＧメンバーからいろんな事を吸収して、単会の為、福井の為、自社の発展の為にこれからも活用できたらと思います。

確実に日本出向すると成長します。多くのメリットもあります。多少犠牲にしなければならない事もありますが、出向して良かったと今は思っています。是非単会のメンバーも日本に一度は行って欲しい。百聞は一見にしかずという言葉がありますが、まずは一歩踏み出して積極的に行動してほしい。勇気をもって一歩踏み出してみてください。行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ、福井の為に共に頑張りましょう。

# 卒業生の言葉

## 石丸　敦士

早いもので卒業の年になりました。多くの「思い出」と、多くの「学びや気付き」を経験させて頂き、そして何より、多くの「生涯における仲間」を作れたこのＹＥＧ人生を大変嬉しく思っております。皆で、例会を一から構築し、学び合いの場を作り、そして伝え、共有するＹＥＧ会員の皆さんと過ごせた時間は、これからの私のビジネスライフにとってかけがえのないものでした。「お互いに学ぶ」という奉仕の精神で、誰かの為に一生懸命に尽力する事の大切さ、能動的に考え、行動する事の大切さを知り、何に対しても、そんな心構えの大切さを経験させて頂きました。最後に、皆さんのお仕事のご商売の繁栄と、皆さんとご家族様のご多幸を心よりお祈り申し上げ、卒業のご挨拶とさせて頂きます。皆さんの益々のご活躍を心より！有難うございました。

## 北嶋さおり

平成21年度に入会させていただいてから9年間の月日が経ちました。今回無事に卒業出来、大変ありがたく感謝申し上げます。

振り返ってみますと、入会してから諸先輩方の厳しく優しいご指摘の数々に鍛えられる日々でし印象に残っておりますのは、福井ＹＥＧ創立40周年式典に於いて司会を仰せつかった事です。私は低音の声にコンプレックスがありましたので、果たしてそんな大役が務まるのか?と思いましたが、式典の実行委員の皆様から沢山の叱咤激励を受け、何とか無事にやり遂げる事が出来ました。自分自身を試す良い機会を与えていただきました。その他にも様々な経験を経て、強い精神力を養うことが出来ましたのも、ＹＥＧの存在があったからこそだと思っております。本当にありがとうございました。

とは言え、この数年は活動にほとんど参加出来ず心苦しい気持ちでおりますが、仕事やプライベートで会員の皆さんとの関わりを持ち続けていけていること、本当にありがたく、ＹＥＧの繋がりの素晴らしさを実感している毎日です。これからも引き続きお付き合いをお願い申し上げます。

最後に福井ＹＥＧの今後益々のご発展と、会員の皆様および事務局の方々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

## 高嶋　浩次

私は、平成23年度に福井商工会議所青年部に、入会させて頂きました。

はや、7年の月日が経ち、卒業できる事を感謝致します。

入会当時は、青年部活動になじめない事もありましたが、委員長はじめ、メンバーの方々の支えや、ご協力を頂いたおかげで、多くの事を学び、多くの事を感じる事ができ、自分自身の成長につなげる事が出来きたと思っております。

私にとり、印象に残っている事は、あじさい会との交流会を担当させて頂いた事です。日頃、お話やお会いできない先輩方々と一緒に、スポーツで汗をかき、懇親会を行なった事で今まで以上の交流を持つ事ができました。懇親会では、先輩・後輩の垣根を越え、今まで先輩方々が築き上げたＹＥＧ活動のお話や、人生のアドバイスなどを、お聞きする事ができ大変ありがたく思っております。

又、青年部活動がすごく勉強になった事があります。事業に対して委員会メンバーが一致団結し、とことん掘り下げ追及し創り上げていく事です、今、思いおこせば、自分におきましても、その様な姿勢を学ぶ場所となりました。

これからの、福井商工会議所青年部の発展と、皆様方のご健勝を心よりお祈り致します。

皆様、ありがとうございました。

## 土肥　宜隆

平成27年より福井商工会議所青年部に加入させて頂きました。

3年程の短い期間でしたがこの度卒業となり皆様には深く感謝申し上げます。

私は入会してから総会や委員会などに数回は参加したものの、手前の都合などで具体的な活動にほぼ参加をせずに卒業を迎え、委員会の皆様にも本当にご迷惑をおかけしました事を心よりお詫び

申し上げます。そして自分自身も反省をしております。

入会当初、実は軽い気持ちで色々な業種に携わる方々と交流が持てればという気持ちで参加致しました。しかし皆様の様々な取り組みを会報などから拝見するにつれ、本当に活動的で感心するばかりでした。しかし結果的には中々時間的な調整がつかず、私は活動に参加する事が出来ませんでした。

ですので、このような私が申し上げるのも僭越ですが、これから活動を始められる方、現在在籍されている皆様におかれましては、青年部で積極的に活動する事は諸先輩方が示されてきている通り人間力を磨く一番の場だと思います。私のように卒業時に後悔する事がない様、是非頑張って下さい。

ありがとうございました。

## 西口　雅基

無事に卒業を迎えることができ、ありがとうございました。

ＹＥＧの活動には積極的に参加する事もなく、卒業の日が来てしまいましたが、本年度も富山営業所への勤務を命ぜられ、委員会メンバーの方々にはご迷惑を掛けてしまいました。

わたしの短い活動期間を振り返ると、平成25年に入会し、いろいろな委員会や例会に参加させていただきました。「まちキッズ」や「子供たちのキャリア教育」、「まち歩き」など、普段の生活や仕事では体験できない経験をしました。福井の活性化と発展に繋がっている活動に少しでも参加できたことは、良い経験になったと思います。また、沢山のメンバーに出会えたことにも感謝しています。みなさんの熱い想いや事業への取り組む姿勢は大きな刺激になりました。今後の自分自身の成長や考え方に役立てて行きたいと思います。

最後になりましたが、これからも、福井ＹＥＧの発展と活動を陰ながら応援させていただきたいと思っています。大変ありがとうございました。

## 森近　泰富

私は平成27年4月に福井商工会議所青年部に入会させていただきましたが、あまり参加する事が出来ずに卒業を迎えることにとなってしまいました。

入会当初は、ＹＥＧがどのような活動をしているかも知らず、ただ異業種の方と交流を持てればいいかなという気持ちでおりました。最初は拡大・成長委員会に配属され、何をすれば良いのかもさっぱり分かりませんでした。まずは自分がこの委員会で何ができるかを考えてみようと思っておりました。当初は数回委員会に参加させていただきましたが、職制上の変化・仕事の繁忙期等と重なり、参加出来ない状況が続いてしまいました。

いろいろと活動をしているメール等が送ってきて頂く度に、次こそは参加しようと考えては、今まで参加していないのに今更という気持ちになり、そのような状況が続き時間だけが過ぎていきました。そして気がつけば、何の行動も起こさずに卒業だけを迎えることになってしまいました。卒業を目前にして思うことは、もっと積極的に参加できていればという後悔の念だけです。

３年間という短い期間でしたが在籍させていただきありがとうございました。これからのＹＥＧの更なる発展と会員様皆様方の益々のご活躍をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

# 平成29年度委員長コメント

## 総務・渉外委員会

委員長
小前田　宙

ＹＥＧに入会して5年目にして初めての委員長を務めさせていただきました。皆さんの見えるところや、見えないところで毎日慌ただしくＹＥＧ活動をさせていただきました。この1年間の経験を通じて、自己研鑽と仲間づくりが相当できたことを実感します。

今年度はぜひとも総務から積極的な提案をしたいということもあり、「楽しくなくちゃＹＥＧじゃない」をスローガンを掲げ、活動をしてまいりました。

ＹＥＧに義務感で参加する必要はありません。ＹＥＧは別に仕事ではありません。楽しんでこそのＹＥＧなのです。そんな想いでこのスローガンを決めました。

自分の中で決めたこと、それはスローガンをとにかく言い続けることでした。委員会報告、メール等の中でも言い続けました。皆さんにとってはしつこかったと思います。委員長も終わりましたが、これからも言い続けると思います（笑）。ぜひ皆さんには来年以降もＹＥＧを楽しんでいただけたらと思います。

リーダーシップがあるわけでもない自分をいろんな方面から支えてくれた副委員長、委員会メンバーのおかげでなんとか1年間委員長を務めることができました。ありがとうございました。

そして、自分を総務委員長に選んでいただいた柴田副会長ありがとうございました。総務委員長は全くの予測外でした。おかげさまで今年はどっぷりとＹＥＧ活動をのめりこむことができました。今年ほどＹＥＧに入会してよかったと思う年はありませんでした。皆さま、本当に1年間ありがとうございました。

## 魅力発信委員会

委員長
天野　準一

真の魅力発信とは何か、を考え行う一年となりました。

自分自身の中にある福井ＹＥＧの良さを発見し、仲間たちと共有する例会、一生繋がり続けるための卒業式、先輩方との交流会の開催、そして魅力の発信を啓発する事業等を行いました。

「福井ＹＥＧの良さ」とは会員一人一人が過去の活動を通して感じた自分自身の成長に繋がるすべてのことであると考えます。なので「福井ＹＥＧの良さとは何か？」と問われた時の答えは一人一人違います。その一人一人が持っている福井ＹＥＧの良さを、その会員の口から伝えることで真の魅力の発信になるのではないでしょうか。

強く伝わる情報の発信方法として口コミがあります。会員から直接会員企業に務める従業員の方達へ、また訪問された取引先の方達に「ＹＥＧとは何か」を伝えるきっかけを作るために「ＹＥＧポスター」を作りました。

また、広くＹＥＧの良さを発信するために会員が自らの体験を通したＹＥＧの良さを話す動画を毎月作成し、ホームページやFacebook広告での拡散を行い、多くの方々からの反響をいただきました。

我々は自分の貴重な人生の一部を福井ＹＥＧの活動に投資し、たくさんの成果を得ております。それらの会の良さ、魅力を隠すこと無く、誇張すること無く、多くの方に伝えることで、共感を呼び福井ＹＥＧブランド向上に寄与すると考えております。

今年一年の活動が、次年度以降の内部事業への会員参加率向上、そして会員の拡大に、なにより会員企業の発展につながっていくものであれば大変嬉しく思います。

## 飛躍成長委員会

委員長
達川　竜司

新しく福井ＹＥＧに入会する会員が初めて所属する委員会として、どのような活動をしている団体なのかを理解してもらい、青年部事業に積極的に参加してもらい、活動を楽しんでもらう事で、モチベーションの向上を図ってもらうべく1年間活動してきました。

非常に大事な役割を頂いたと、プレッシャーを

感じていましたが、メンバーと話をし、福井ＹＥＧで活動したい、楽しいと思ってもらえるよう、各委員会や先輩方にも協力いただき、将来のＹＥＧを引っ張っていく事の出来る次種人材を育て、福井を支える青年経済人としての意識改革にもつながると思い、30人を超える大所帯で1年間やってくる事が出来ました。

新入会が考える10月度例会では、自己研鑽を考えるという難しい題材を、12月度家族例会では会員とその御家族が楽しめるクリスマスをと、会員の絆を深めつつ事業を構築してくれました。

それが出来たのも、3人の副委員長と新入会員のメンバーのやる気と協力のお陰だと思います。

もしかしたら、自分が一番「意識改革出来た」のかもしれませんが、次年度は役員に選ばれたメンバーも多くいて、新たな委員会で頑張る人、次年度も新入会員として残るメンバーも、共に頑張っていく事になると思いますが、これから青年部活動をしていくうえで、この委員会での事が少しでも役に立てばいいと思います。

## Ｇｏｌｇｅｔｔｅｒｓ委員会

委員長　佐藤　宏隆

本年度の活動を振り返るにあたり、あらためて年度初めに書いた委員長としての抱負を読み返しました。今年度委員長として1年間をどのように進めていこうと考えていたか。その中心にあったのは「旧弊にとらわれないこと」でした。例会の内容を検討する上で、「火種人材」として求められる資質の向上に繋がることはもちろんですが、どこか既視感のあるような内容は止めよう。前例が無いことを理由に挙げることは避けよう。このことに特に注意して委員会を運営してきました。経済人として欠けている部分を補い、知識を磨き、自分をさらに高めていく場を提供することが我々の委員会のレゾンデートルです。しかし例会はその入口にすぎません。その内容を実践していくことで始めて自らの血肉に変わっていく。それゆえ、誰もがそこをくぐってみたいと思う入口にすることが重要です。しかし福井ＹＥＧを構成するメンバーは経験、会社での役割などその全てが異なります。そんな多様性の強い集団において誰に対しても魅力的に見える入口とは何か。一見して矛盾する状態の中で、我々の委員会は必死にアウフヘーベンする道を探しました。我々だけの新しいやり方でこの答えを探し続けてきました。この難題に一緒に立ち向かってくれた委員会メンバーには本当に感謝の言葉もありません。そして、その例会に忙しい中参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

全てのＹＥＧメンバーに、心からの感謝をこめて。

## シン・キャリア教育委員会

委員長　近藤　友則

ＹＥＧ歴の浅い中、私に付いてきて頂けるメンバーに対して何が出来るか、福井ＹＥＧのメンバーに対して何を示すことが出来るかをずっと考える一年でした。

今年度はキャリア教育に対する理解をより深め、福井ＹＥＧにとって新しいキャリア教育に取り組み、キャリア教育をもっと楽しんでもらいたいと思い活動してまいりました。

キャリア教育と聞くとどうしても難しく思われがちです。福井ＹＥＧのキャリア教育には対外的なことなど様々なしがらみがあり、それが難しい印象を与えるのではないかと思います。

私自身も、これまでキャリア教育に対して難しい印象を抱いていましたし、今でも難しいと感じる事が多々ありますが、アントレ・キッズなどで講師を幾度も経験し、子ども達に何かを伝えるという事に対しては心から楽しむことができています。

キャリア教育のみならず、ＹＥＧ活動はどんなことでも楽しんだもん勝ちではないでしょうか。小前田委員長の口癖である「楽しくなければＹＥＧじゃないっ！！」はまさに私たちがＹＥＧ活動をしていく上で一番大事なことだと思います。

今年度多くの方に支えられシン・キャリア教育委員会は無事全ての事業を終えることができました。藤田副会長をはじめ、吉村副委員長、多田副委員長、木内副委員長、そしてシンキャリのメンバーには僕のことを支えて頂き心から感謝致します。今年度の活動が今後の福井ＹＥＧにとって少しでも寄与できれば幸いです。

みなさん、今年度のキャリア教育の事業、楽しめました？

## 福井元気が出る委員会

委員長　福田　智司

まち系委員会の経験無し、委員長の経験無し、しかも卒業年度を過ぎて延長中に、まち委員長の打診があるとは…　委員長か卒業かの選択があるなんて、担当の坂口副会長には感謝です（笑）

そんなスタートでしたが、まちの事業を構築していくのに心がけたのは、対外的な事業が多いこともあり、「福井の元気を作り出す」ということでした。そのために福井ＹＥＧの存在感を出す必要があり、置きにいかない企画の第一弾として「フェニックス人選び２０１７～水かけ障害物レース～」を生み出しました。女性と外国人の参加が多い企画となり、シンプルなレースに仕上げたことで次につながるポテンシャルを感じました。

昨年度からの継続事業として「まちキッズふくい」にも取り組みました。子ども達に福井を探検し、発見し、好きになってほしいと願う事業で、今年度は各地区で活躍する人にフォーカスを当て「宝人」と称し、子ども達が宝人に取材をし、冊子「ふくい宝人」を発刊しました。

１月例会は、まちキッズふくいに参加してくれた子ども達、宝人を招待し開催しました。「ふくい宝人」の出版披露会、そして一緒に座談会をすることで情報共有することができました。

まちの委員会は年度が替わってすぐに春祭りの運営が始まるという他委員会にはない難しさがあります。また、委員会を運営する難しさも経験できました。カリスマ性も無く、大したリーダーシップも無かったと思いますが、委員会メンバーのお蔭でなんとか事業を構築できました。本当にありがとうございました。

# 平成30年度 会長抱負

平成30年度会長
**五十嵐　嘉紀**

## 平成30年度スローガン

**Evolution（進化）～YEGism の実践～**

私は平成9年に入会し、今年でＹＥＧ生活22年目を迎え人生の半分をＹＥＧで過ごしています。

入会当時は、自営業ということもあり、24歳でＹＥＧへ企業派遣される立場ではありましたが、当時青年経済人としてのスキルは無く、青年部事業を通じ学んだことや、諸先輩方からいろいろと教えて頂いたことが、今の自分自身のスキルの構築に大きく影響を得ています。

ＹＥＧ活動は、綱領・指針にもあるように、研鑽に努め、教養を高め、勇気と情熱を傾け、文化を継承し、創造し、（自分達の）行動こそが、責務であり、力を合わせ（協動し）、国の礎となる。まさにそのものだと確信しています。平成30年度会長を拝命するにあたり、私を育ててくれたＹＥＧ、そして、福井の地域（まち）を盛り上げていくには、どうしたらいいか考えました。

そこで、平成30年度は、【Evolution（進化）～YEGism の実践～】という、テーマを掲げました。また、テーマを実現すべく、３つのキーワードを掲げました。まず、あらゆる案件や問題に立ち向かうのは、自分自身です。それを解決するには、メンバーが常に研鑽する【個の進化】が必要です。

次にＹＥＧは様々なプロフェッショナルが集う組織です。自らを知り、高めると共に、自身の足りない部分を補いあえる仲間達と結束し、切磋琢磨することによって、個人では解決できない難しい課題に対応できる強固な団結力を有する【組織の進化】が必要です。

更に、ＹＥＧは青年経済団体です。福井の街が盛り上がらなければ、我々企業の発展も考えられません。個と組織の進化を土台とし、個々のスキルやＹＥＧ活動を通して得た「視点や考え方、組織の動かし方」などのスキルを活用し、ＹＥＧと地域が一体となり、【コミュニティの進化】を促すことが必要です。

また、３つの進化をめざす姿勢を「YEGism」とし、「人と人、人と地域を繋げ、そして、地域に更なる進化（Evolution）を促す人材」として活動してまいります。ＹＥＧメンバー、そして、ＹＥＧと関わる全ての人達に必要とされる団体として、地域経済の発展と地域振興に福井ＹＥＧの総力を上げ、主体的に取り組んでいきます。

# 平成30年度 委員長抱負

## 総務・ＰＲ委員会

委員長
**森　淳一郎**

魅力あふれる組織とは、いったいどういうものでしょうか。私は、そこにいる人達がコトの大小に関係なくやりがい（使命感）や誇りを持って活躍している組織だと考えます。福井ＹＥＧはまさに、皆が使命感を持って地域社会の発展のために多様な事業に尽力できる魅力あふれる組織です。しかし、そのポテンシャルから考えると果たして十分に魅力を発揮できているでしょうか。私は、まだまだ進化できる伸び代があるものと考えています。

総務・ＰＲ委員会は、会員個々人が一層使命感と誇りを持って活躍できる組織づくりを目指していきます。その為に、総務としてまずは確実に組織の基盤を固め、改善を図ります。例会や事業、大会等については、参加し易くなる環境を設えます。参加率の向上が会の雰囲気を活性化させ、会員の帰属意識を高めます。そしてＰＲ活動。敢え

てPRという言葉を使うことには、本来のPR（パブリックリレーションズ）が持つ目的である「ステークホルダーとの良好な関係作り」を明確に意識するという想いを込めています。地域との相互理解や双方向コミュニケーションを深めることが、メンバーにとってはYEG会員であることへの自信や意識向上につながり、それが魅力ある活動となって現れ、また地域に認められ…という正のスパイラルを目指します。このように内外共に働きかける情報発信活動を進化させ、会員拡大という面からも新たな仲間が集う場づくりに寄与します。

私はまだ入会3年目であり、初めての委員長です。もちろん不安な面はありますが、それ以上に私はこれをチャンスと捉えています。経験が浅いからこそまずは自らが積極的に行動をおこし、魅力あふれる組織づくりを目指して周囲を巻き込んでいきます。また、ややもすれば委員会での縦割りになりがちですが、他委員長と協力して横のつながりを強く広げていき、それぞれのゴールを目指した、組織としての一体感を作っていきたいです。

今年度の当委員会は、総務とPRとでやるべき職務は盛り沢山です。しかし見方を変えれば、それだけ福井YEGの進化に広く関わることができるということです。組織の基盤を支えるための総務。地域との良好な関係を築くためのPR。内と外の両面から福井YEGの進化を共に成し遂げ、今以上に皆が輝く魅力あふれる組織を目指しましょう。まずは私達自身が進化を楽しむところから。どうぞよろしくお願いいたします。

## ビズレボ委員会

委員長
**坂田　守史**

これからの未来、企業が生き抜くためには何が必要だろうか」この委員会の委員長拝命の話しをいただいた時、頭によぎった問いです。そして、平成30年度のスローガンはEvolution（進化）。会長の基本方針にある3つの進化の内、特に個の進化と組織の進化を促すため、「企業が生き抜くためにはどんな進化が必要だろうか」を課題として、取組んでいきます。

経営者・管理職・社員それぞれ役職も異なり、多業種が集まる会員にとって、今の社会変化の中でどういう進化が必要になってくるか。それは既存のビジネス・組織を見つめ直し、未来を見越した新たなビジネスの創出の両方を考えていくことが望ましいと考えます。「進化」とは、環境変化を速やかに察知し、変化に応対する形態変化で、いわゆるイノベーターと言われる人たちはそういったスキルに長け、革新的な行動を実現しているといえます。こういった視点をもち、革新的な取組みに触れる機会を例会や県内事業所などの取材から学び、個の進化と組織の進化を目指していきます。経営者としての意識の変化、管理職としての意識の変化など、それぞれの意識変化が生まれて事業・ビジネスの進化になると考えます。

平成30年度ビズレボ委員会では、今のビジネスの視点を変え、意識の変化によるビジネスの進化を生み出していく所存です。そのためのヒントは先進的な取組みを行っている会社やビジネスを変革しているイノベーティブな取組みから学ぶことができます。進化には新しい視点とこれまでに触れたことのないこともあるかもしれませんが、今後の皆様のビジネスの進化に役立つ場をつくります。

ビズレボ委員会という名称は、進化に挑むためには革新（レボリューション）がまずあるべきと思い、ビジネスレボリューション略して「ビズレボ委員会」とさせていただきました。会員の皆様の進化には、私自身の進化がまず必要だと思っています。それが委員会の進化となり、ビジネスの進化へとつながっていくと思います。その進化の行程を皆様と歩んでいきたいと思いますので、今年度よろしくお願い致します。

## ひとづくり委員会

委員長
**清水　孝行**

現代では、情報技術革新により社会経済や産業構造がもたらされ、対面しなくても相手と時間を共有できるようになり、それぞれがインターネットを通じて個々の世界を持つことができるようになりました。そのため、人との繋がり方は表面的で無機質なものになりがちで、組織や地域社会の関わり方においても同様のことが言えるのではないでしょうか。

福井には、都会の様に、すぐに何でも揃う、便利で華々しい生活は無いかもしれません。しかし、都会にはないヨコの繋がりが密接なコミュニティが多く残っています。時に煩わしく、古臭い、そういう環境の下でこそ、本質的な人間関係は育まれやすいものです。こうした環境の下、福井ＹＥＧはこれまでキャリア教育やまちづくり等の様々な事業を通じ、個人や地域社会に対して密接に関与し、時には貢献してきたと言えます。そして、これは今後も継続していかなければなりません。今我々福井ＹＥＧが社会から求められているものは、福井の本来的な環境を活かしつつ本質的な人間関係を再構築し、強固な団結力を有する組織へと進化し、これまで以上に、そして将来に渡って、地域社会に影響を与えられる人材へと成長していくことと考えます。

人をつくるのも、組織をつくるのも、地域をつくるのも「ひと」です。人が変われば組織が変わり、組織が変われば地域が変わり、地域が変われば地域社会が健全な発展を遂げます。福井ＹＥＧのこれまでを振り返り、今後福井ＹＥＧがどうあるべきか検証し、福井をこれまで以上に良い方向へと導いていける組織へと進化していけるよう邁進してまいります。

福井ＹＥＧには百数十名の様々な業種・職種のプロフェッショナルが集う組織です。福井を代表するメンバーに恵まれている福井ＹＥＧがひとつにまとまればこれほど強いものはありません。我々が生活する福井のあるべき姿を共に考え、共に福井をあるべき姿へと導ける組織となれるよう、共に進化をしていきましょう。

## 轍～ＷＡＤＡＣＨＩ～委員会

委員長
**山村　直主**

これまで、沢山の先輩方が福井ＹＥＧとしての活動の中に数多くのキャリア教育事業を見出し構築されてきました。しかしながら現在、福井ＹＥＧメンバー全員がキャリア教育事業の「本質や価値」を理解しているだろうか？今年度は、キャリア教育の本質を学び過去・現在の事業を検証するとともに「福井ＹＥＧのキャリア教育とは？」を何かを考え新たな事業を提案する事が課題となります。

平成11年中央教育審議会「初等中等教育と高等教育との接続の改善について（答申）」においてキャリア教育が示され、平成29年3月31日に告示された新しい学習指導要領の総則には、はじめて「キャリア」という言葉を直接用いてその充実を図ると示されました。第1章総則に「キャリア教育の充実」が明記されたということは、教育課程全体に係るという意味だそうです。

今まで以上全国的にキャリア教育の必要性が高まる平成30年、我々委員会は福井ＹＥＧメンバー全員が課題解決に必要なキャリア教育に対する認

識の統一を目指し、青年経済人として地元中小零細企業の加速する人材不足における様々な問題をも「キャリア教育を用いれば次代の郷土をつくる人材の育成や持続可能な地域の創生を実現する。」という言葉を信じ、福井ＹＥＧキャリア教育の進化提案も目指します。

私は、平成27年度入会、29年度卒業と短いＹＥＧ活動と覚悟のうえで積極的に事業や例会に参加し、遅咲きながら青年経済人としての姿勢や思考を学んできました。今年度卒業を延長し委員長を受けた覚悟として、私自身キャリア教育を学ぶ努力を惜しまず情熱を燃やし、今後の福井ＹＥＧキャリア教育の仕組みや次に繋げる形を福井ＹＥＧメンバー全員が意識できるよう努めます。

「キャリア教育とは…」この問題の答えは、時代と共に変化していく様に思います。

今年度我々委員会名にも掲げている「轍～ＷＡＤＡＣＨＩ～」という言葉にキャリア教育の全てが込められています。委員会全員で手を取り合いながら一つ一つ学んでいきましょう！1年間どうぞ宜しくお願い致します。1年後には委員会活動で得たことが自分の人生の大切な～ＷＡＤＡＣＨＩ～になりますよ。

## 地域とＹＥＧはひとつ委員会

委員長

**辻　直樹**

福井ＹＥＧで行っている「桜まつり参画事業」、「フェニックスまつり参画事業」はいずれも「参画事業」という形をとりながらも「○○まつりと同じ日に行っている福井ＹＥＧのイベント」ではないかと私は感じていました。また、「まちキッズ事業」については、福井ＹＥＧが長年培ってきた地域との繋がりを活かした福井ＹＥＧだから出来る事業だと思っていますが、参加者数などを考えるともっと改善していく必要がある事業だと思っています。

参画事業への課題とまちキッズ事業への課題についての改善には私は「繋がりの深化」と「魅力ある地域の構築」が必要だと考えています。私は福井をもっと魅力ある地域にしていくためにも、これまで以上にＹＥＧと地域が一体となるように取り組んでいきたいと思います。事業内容ついては諸先輩方の長年の試行錯誤により、様々な形で執り行われ年々洗練されてきましたが、まだ毎年続く決まった形のものは出来上がっていません。つまり、まだまだ進化する余地があるということです。各事業に対して今まで以上に地域と連携し、福井の賑わいの中核を担う事業へと進化させる事を目指します。地域とＹＥＧのつながりの深化が福井の賑わいへの真価を生み出し、魅力ある地域の構築が福井全体への進化になると信じています。また、参画事業については行政とも深く関わることで本当の意味での協働と参画を果たしていきたいと思っています。

初めての委員長ということで責任の重さと不安で胸がいっぱいです。また、私自身がまちづくり委員会に所属することも初めてのため、未だ分からない事やいたらない点が多くあると思いますが、まずは委員会メンバー全員で委員会を楽しみ、考え、協力し合いながらこの一年の委員会を作っていきたいと思います。私が進化することでまずは一歩だと考えています。

最後になりますが、まちづくり事業は委員会だけでなく、福井ＹＥＧメンバー一人ひとりの協力がなければ成しえることのできない事業です。地域だけでなく福井ＹＥＧの会員が一体となって取り組んでいきたいと思っておりますので、何卒ご協力のほど宜しくお願い致します。

# 結絆凛々委員会

委員長
**桝谷　妃香里**

私たちの委員会は、ＹＥＧに入会された方々が最初に所属する委員会です。まずはＹＥＧとは何かを知って頂き、綱領や指針に基づき、ＹＥＧの基本を学ぶことが重要です。入会した理由は様々ですが、皆さま熱い思いを持って入会されたことと思います。当委員会ではそんな熱が冷めぬようしっかりとサポートし、より多くの福井ＹＥＧ事業に参加頂きたいと考えております。

まずは、今年度のスローガンにもある「YEGism」をしっかりと実践していかなくてはなりません。新入会員は１つ目の「個の進化」に特化していきたいと思います。ＹＥＧに属することで青年経済人としての資質を問われることも多くなります。私もＹＥＧが初めてで、入会したての頃は不安や疑問に思うこともありました。しかし、積極的に事業に参加し、経験することで１つずつ確信に変わっていきました。まずは、ＹＥＧ色に染まってみましょう。この１年、ＹＥＧだからこそできる経験を重ねることで「個の進化」へとつながっていくでしょう。そして「個の進化」が「組織の進化」「コミュニティの進化」への大きな力となります。さらにＹＥＧは様々な分野のエキスパートがたくさんいます。日々刺激を受ける仲間と切磋琢磨し、何かを成し遂げることで深い絆も生まれます。新入会員で皆同じスタート地点に立ち、共に成長していくことで一生の仲間を作れるでしょう。

やはりＹＥＧに入って１番感じている事はご縁が溢れているということです。そのご縁を生かし、「絆の進化」を実現していくためにも、まずは新入会員一人ひとりのパートナーのような存在でありたいと考えております。他委員会メンバーとも積極的に交流を図り、新入会員にいい影響を与えられるような環境づくりを心掛けていきたいです。

私は今年度で入会３年目です。そんな私がこんな大役を仰せつかり、ありがたくうれしい反面、責任の重大さに身の引き締まる思いです。しかし、新入会員に１番近い存在であるということで、メンバーの皆様の思いを最大限に尊重し、共に成長できるチャンスだと考えております。しっかりとＹＥＧを楽しみ、自分の居場所を作っていきましょう。１年間どうぞよろしくお願いいたします。

# 平成 30 年度　福井商工会議所青年部　組織図

YEG

# 福井商工会議所青年部会員企業一覧

2018年3月1日現在／125名

## 衣類・繊維・装飾品

㈱ E-GANG
㈱ウエマツ
㈱パリ
山田商店
ジュエリー土屋
㈱トウカイフクイ
㈱ MAKT crowning

## 印刷・出版

㈲いとう印刷
㈱竹下印刷所

## 飲食・食品

㈱米五
蕎麦 Dining 一福
大吉餅
中華四川料理もりた
㈱天たつ
Bar lu touch
焼肉家 優
一翠
SAYA
Grande
500BAR taku
㈱御素麺屋
フードイノベーション㈱

## 建材・機械

㈱キャンピオ辻万
㈱ダイナテック
福井宇部生コンクリート㈱
ホクコンマテリアル㈱
太田木材㈱
㈱北川

## 建築・設備・工事

㈱石本石材
㈱太田忍工務店
Ｆｉ-ｅｌｄ（フィールド）
㈱ショーセイ
平成電工㈱
㈱前田美装工業
村上大理石㈱
㈱ S.K PLANNING
オーガニックハウジング㈱
積水ハウス㈱
石橋建材㈱
㈱ Atelier5

## 建築・設計

㈱エヌアンドシィオゥ
㈱松宮設計事務所
㈱サンテン・コーポレーション
大和ハウス工業㈱
㈱見谷組

## 広告・放送・催事

㈲紅青社
㈲タカラアート
㈱トゥエルブ
㈱デザインスタジオビネン
ヒヨコヤデザイン
㈱ビジュアルライン
㈱福井新聞ＰＲセンター
福井テレビジョン放送㈱
福井放送㈱
㈱ ドゥーガ ブレインズ
㈱ライトスタッフ
㈲Ｌａｂ･Ｌａｂ
㈱シー・ディー・アイ
㈱クレドワークス

## 自動車・運輸

㈲アサダモータース
㈱ホンダクリオ福井
㈲マサシ自工
ＪＲ西日本福井支店

## 情報・ＯＡ

サンキ㈱
㈱ソニック
㈲詩季

## 製造・加工

㈲勝見金筬製作所
㈲中川鉄工
㈱ナカテック
㈱プロダクト・マイスター
㈱ミテック
北鋼シャーリング㈱

## 保険・相談

㈱アトラス
今井労務経営事務所
行政書士法人 坪川事務所
北出経営労務事務所
税理士法人 合同経営会計事務所
清水法律事務所
弁護士法人ふくい総合法律事務所
安田会計事務所
南和彦税理士事務所
ライフスタイルプラス
Ai Support
ソニー生命保険㈱
ジブラルタ生命保険㈱
L&P コンサルティング
プルデンシャル生命保険㈱
上田保険事務所
㈱アイル保険センター

## 不動産

㈱林不動産鑑定所
㈱Ｒ.Ｅ.Ａヤマギシ事務所
嶺北殖産㈲
㈱宮永不動産
㈱野澤不動産
森川不動産㈱

## 旅行・旅館

㈱ JTB 中部 福井支店

## 卸･小売･サービス

㈱越前かに成前
玩具問屋　大村商店
㈱キシモト商会
㈱キタジマ
㈱クリーニング白洋舎
㈱サイトー電器
酒のタケウチ
㈲土谷
㈱トータルクリーンタカシマ
トライドゥカメラ
福井精米㈱
ラーナニーニャ
㈱ムラタ
㈱山岸和紙店
Atolla
㈱オフィスサポート BP
HAIR/MAKE　PALIER
㈱三栄商会
㈱インフォライブ

## その他

カイロオフィス YOU 癒佑
川端段ボール㈱
㈲グラヴィ
スタッフマネジメント㈲
㈱ダイエイ
ミリオン協同組合
㈱山形商店

# 新入会員紹介

株式会社
オフィスサポートＢＰ
## 阿部泰教

弊社は複合機や事務用品、事務機器などを販売する会社です。会社を継いで約４年になりますが、前職はリコーという会社に約15年務めておりました。

出身は勝山市で大学から親元を離れ田舎から、大都会の愛知県に約17年滞在し、ビジネスの厳しい環境で育ち、仲間も沢山でき、またその重要性を学んできました。今後、ＹＥＧでは沢山の若い仲間とともに未来の福井のための「まちづくり」や「ひとづくり」をやっていけたらいいなと思います。これからよろしくお願いします。

株式会社クレドワークス
## 池上紅瑠美

平成29年４月に入会させて頂きました、春江町のイベンター、クレドワークスの池上と申します。主に講師・歌手・お笑いやモノマネタレント等をイベントにご提案しております。

大好きな福井県が更に良い県になるよう、ＹＥＧの皆様と共に活動して参りたいと思います。ＹＥＧには色んな御方がおられ、とても刺激になります。参加できない事も多々ありますが、色んな事に挑戦したいです。何卒宜しくお願い申し上げます。

上田保険事務所
## 上田敬士

平成29年４月に入会させていただきました上田保険事務所の上田です。入会して色々な事業に参加させていただき、ＹＥＧの『素晴らしさ』『楽しさ』を実感しております。何をするにも初めての経験でとても勉強になります。

次年度は総務・ＰＲ委員会の副委員長として、福井ＹＥＧを盛り上げていくため頑張ります。若輩者ではございますが、福井ＹＥＧと共に成長出来るよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

株式会社アイル保険センター
## 上田結介

昨年の五月に入会しました。お世話になっている方から進められて活動の中身が全く分からないままの入会でしたが、例会や委員会を通してＹＥＧを理解しながらの自己研鑽が出来た一年だったと思います。また今年一年メンバーとともに自己研鑽が出来ればと思います。今後ともよろしくお願い致します。

太田木材株式会社
## 太田貴司

福井県立大学前で木材卸売・加工業を社業としている太田木材の太田貴司です。今回、ご縁がありまして、福井商工会議所青年部に入会することとなりました。生まれも育ちも福井県、地元経済青年人の一人として、商売をさせて頂いている地域に、恩返しできるように努めて参りたいと思います。

まだまだ、半人前で、皆様の足を引っ張ることが多々あるかもしれませんが、今後ともよろしくお願い致します。

株式会社
ＭＡＫＴ　ｃｒｏｗｎｉｎｇ
## 金本いずみ

㈱ＭＡＫＴ　ｃｒｏｗｎｉｎｇの金本と申します。弊社は主に飲食店営んでおります。

ＹＥＧに入会する少し前に新事業として、オーダースーツのお店を始めました。ＹＥＧにはいろんな業種の方々がいると聞き、自分の成長や刺激になると想い、平成29年４月に入会させて頂きました。私自身まだＹＥＧとは？聞かれたら今はまだ熱い想いは、答えられません。諸先輩方の話の

中でゆっくりと吸収していき、熱い想いを伝えていけるよう励みたいとおもいます。今後ともよろしくお願いします。

株式会社ＪＴＢ中部福井支店
**加納　真司**

平成29年4月に入会をさせて頂きました、ＪＴＢ中部福井支店で勤務をしております加納と申します。

福井に住んでまだ3年ですが、住みよい素晴らしいところと実感しております。人も優しく、食べ物もおいしく、歴史も深い。そんな福井を全国に発信していきたい所存です。ＹＥＧ活動では諸先輩方から非常に多くのことを学ばせて頂いております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社北川
**北川　直**

平成29年ＹＥＧに再入会させていただきました株式会社北川の北川　直と申します。

弊社では金属製屋根、外壁、サッシ等の建築資材の加工、販売、施工を行っております。

今後ＹＥＧ活動に積極的に参加し、青年経済人として地域社会の活性化に少しでも貢献できるように頑張ります。

私自身まだまだ未熟者ではございますが、ＹＥＧ活動を通じ自己研鑽に努めてまいりたいと思います。宜しくお願い致します。

株式会社トウカイフクイ
**工藤　紀昌**

毎度お世話になっております。今回、福井商工会議所　青年部さんにお世話になることになり猛烈に感動しております。

至らない点もあるかと思いますが、皆様の足だけは引っ張らないよう努力して参りたいと思います。自己紹介出切る身分では決してありませんので末永く見守って頂きたいと思います。

ＨＡＩＲ／ＭＡＫＥ
ＰＡＬＩＥＲ
**小島　茂幹**

平成29年10月から、北出会長のお誘いによりＹＥＧに入会させて頂きました。

この美容業界で携わる中で日々感じていた、雇用に関する不安や不満、またこれからのサロンの発展の為には、閉鎖的に感じる同業種の集まりでは　得る知識が少ないと思い、様々な業種、業界の方が集まるこのＹＥＧと、その事業を通し、日々精進、勉強をしていき自身の成長とサロンの発展に繋げていきたいと思います。

また私は、県外育ちなので、ＹＥＧを通して人脈、交友関係を広げていきたいと思いますので何卒よろしくお願いします。

株式会社御素麺屋
**小寺　洋太郎**

初めまして、株式会社御素麺屋の小寺と申します。弊社は、福井市内に3店舗お店を構え、菓子の製造・販売を営んでおります。

福井ＹＥＧに入会して、間もなく1年が経とうとしております。いろいろな例会や事業を通じて、人や地域との繋がりと広がりが生まれていることを実感しております。今後はこの繋がりをより深めていけるよう精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いします。

福井放送株式会社
**佐藤　ひとみ**

はじめまして！福井放送株式会社　営業局テレビ営業部の佐藤ひとみと申します。来春4月で、入社3年目、福井に来て丸2年の福井県民見習い生です。

友人もおらず、不慣れな土地ということで、会社の方から選出されました。おいしいお酒とおいしい食べ物が大好きなので、福井の土地は合っていると信じています。色々なお店を開拓したいなと思っています。フットワーク軽めの元気だけが取り柄のおなごです。宜しくお願い致します。

大和ハウス工業株式会社
福井支店
田口　徹

平成29年7月から、福井商工会議所青年部に入会させていただいております大和ハウス工業株式会社の田口　徹と申します。
12年間、福井で住宅に関する仕事に携わらせいただき、人とのつながり、ご縁、人脈の大切さを学ばせていただいております。このＹＥＧ活動を通じて、更に人脈形成につなげて、それが自己の成長にもなるように実践していきたいと思っております。
これから宜しくお願い致します。

Ａｔｏｌｌａ
田中俊之

平成29年に入会させていただきました、田中俊之と申します。
当社は主に観賞用のクラゲを全国の水族館や研究施設、愛好家の方々に販売する全国的にも珍しい業種です。
入会して、自身の研鑽や仕事をする上での心構え、運営の仕方など、多くの事を学び、またかけがえのない仲間にも出会うことができました。
今後も自社の発展はもちろん、地域社会に貢献できるよう、さらなる飛躍を目指して積極的に活動していきたいと思います。

ジュエリー土屋
土屋　道照

平成30年1月入会致しました。ジュエリー土屋代表　土屋　道照とお申します。
福井市大名町通りでジュエリー業をいとなんでおります。主に、婚約指輪・結婚指輪・真珠・念珠というブライダルであったり、お客様の人生の節目の際の商品を取り扱っています。
ＹＥＧでは、地元の若者を育成するような事業に携わって参りたいと考えております。
まだまだ未熟者ではございますが、皆さんのお力になれるよう日々精進し、そして、お互いに切磋琢磨出来るような関係を築きあげれますこと、よろしくお願い申し上げます.

ＪＲ西日本　福井支店
仲野　勲

平成29年10月より入会させていただきました。
弊支店は昨年の6月に立ち上げ、約5年後に迫った北陸新幹線敦賀開業までの間に福井県内の観光開発を行う組織です。
福井ＹＥＧ活動を通じて自己研鑽に努めるとともに、新幹線が福井県内まで繋がった際には、観光客で賑わっているふるさと福井となるよう、微力ながら努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

株式会社　野澤不動産
野澤　知永

昨年4月より入会させていただきました、株式会社野澤不動産の野澤知永と申します。
弊社は、「信用第一・誠実」をモットーに、福井市内をはじめその周辺地域にて不動産業務全般を行っております。
ＹＥＧ活動を通して、郷土福井が更に魅力ある誇らしき街になる様、微力ながらお手伝いしたいと思います。また会員の方々との交流により、多くの気付きと学びを得、更なる自己の成長に繋げられればと思っております。
何卒宜しくお願いします。

フードイノベーション
株式会社
細川　正人

初めまして、平成29年度4月に入会致しましたソーホーズグループの細川正人と申します。
新入会員とは言え既に43歳ですので限りある時間を有効に使って福井ＹＥＧの名に恥じぬ活動をしていきたいと思います。備えよ、常に！をモットーに自分の信念に従い、メンバーと共に歩み、

そして進歩していければと思います。よろしくお願い致します！

プルデンシャル生命保険
株式会社
**本多　雄二**

平成29年4月に入会させていただきました本多雄二と申します。

ＹＥＧ活動を通じて社会貢献が出来るように、また、多くの仲間と切磋琢磨することで自分自身も向上出来るよう頑張ります。宜しくお願い致します。

北鋼シャーリング株式会社
**増田　悠二**

建築部材や機械部品の材料を切断する、いわゆる切り板屋です。目立たない仕事ですが、自分たちの仕事から福井のものづくりが始まるという気概をもって日々邁進しています。

ＹＥＧ会員としてのこの一年は気付きの連続で、中でも附属中でのキャリア教育講師の経験は、子どもに何が伝えられるか考える中、自分の仕事観やモチベーションの源泉を再発見するいい機会となりました。今後ＹＥＧ活動を通して、自分の成長、延いては福井の発展に貢献していきたいです。

株式会社　見谷組
**見谷　純次**

この度、４月より入会させていただきました㈱見谷組の見谷です。

弊社では、福井県内を中心に建物の設計・施工を行っています。

ＹＥＧに入会してまだ間もないですが様々な活動を行っていく中で、自身の成長と仲間ができ、また地域社会へ多少なりとも貢献できていると感じております。

次年度は轍～ＷＡＤＡＣＨＩ～委員会の副委員長として精一杯活動していきたいと思いますので今後も宜しくお願いします

## あじさい会通信

平成29年度、あじさい会会長の山本清美です。昨年の事業として平成29年11月25日～26日に観光資源の視察と会員間の交流促進を目的に研修旅行を実施しました。

参加者12名で広島へ出発。広島は快晴で1日目は呉湾艦船めぐり、大和ミュージアムを見学。10分の1の戦艦「大和」や人間魚雷「回天」の実物は圧巻でした。夕食後、2次会はオールディーズのお店で老いも若きも昔を思い出しみんなでノリノリフィーバー（笑）。2日目は世界遺産安芸の宮島・厳島神社で歴史と自然を散策。厳島神社では挙式が厳粛に行われていました。費用は10万円とか。宮島桟橋から汽船で平和記念公園へ。世界遺産の原爆ドーム、資料館には小中学生をはじめ、外国の方も大勢訪れていてボランティアガイドさんの話を熱心に聞いていました。原爆や戦争の悲惨さ、平和の尊さを改めて学ぶことができました。1泊2日でしたが、会員相互の交流もできてとても有意義な大人の研修旅行でした。

現役会員も120名近くになり、益々地域や企業の発展に貢献されていらっしゃると思いますが、あじさい会としても微力かもしれませんがご支援させていただきますのでどうぞ気軽に声をかけてくださいね。

## ご結婚おめでとう

1．結婚日
2．配偶者のお名前および旧姓
3．なれそめ
4．相手の呼び方
5．ひと言（夫婦各々）

### 下野　護 会員

1．平成29年4月15日
2．北川小百里（きたがわさゆり）
3．会員の中川君の紹介
4．：ひみつ♪
5．家庭も仕事も頑張らねば！…
あ、もちろんYEGも（笑）

### 竹内　治 会員

1．平成28年2月18日
2．吉川 美喜子（みきこ）
3．共通の友人紹介で
4．みきこ おさむ
5．この度、無事結婚することが出来ました。
公私ともに支えて頂き感謝しています。
これからも宜しくお願いします。

## こんにちは赤ちゃん

1．誕生日
2．お名前
3．ひと言

### 上松 悦志会員

1．平成29年11月16日
2．上松 桜都（うえまつ おと）
3．かわいく撮ってね。
お地蔵さんみたいかな？

### 吉田 純也 会員

1．平成29年12月18日
2．吉田 剛大（ごうだい）
3．（赤ちゃんから）
パパ大好き

## 西木田通信

私と青年部の出会いは、大学時代に遡ります。富山YEGの事業に参加し、約半年間イベントに向けてメンバーの方と一緒に活動させて頂きました。その為、5年の時を経て、今こうして自分自身が青年部の事務局をしていることに不思議な縁を感じています。昨年から事務局を担当させて頂いていますが、今年は昨年よりも多くの事業に参加し、皆さんの「実行力」の凄さをより感じました。様々な課題のある中で、一つ一つクリアしていき、実施につなげる「実行力」を自分自身見習いたいと思います。

新河戸 理恵

隠れ事務局の藤原です。「剛毅果断」に取り組んだ一年、おつかれさまでした。途中からフェードアウト気味でしたが、皆様と歩んだ一年を振り返り、改めて青年部の行動力とパワーを感じた次第です。特に印象深いのは夏まつり「水かけレース」。直前まで擦った揉んだの議論が続き、実施できるのか正直不安でしたが、終わってみればたくさんの笑顔溢れる素晴らしい事業でした。新たな挑戦をするとき、（少なくとも私は）成功できるか不安になり躊躇しますが、青年部は強い団結力と底力で見事やり遂げられ、その姿に勇気をもらいました。今後も益々の活躍、期待しております！

藤原　卓也